



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 ショクブン

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 公

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榎本 正樹

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,961	△1.5	95	△12.8	38	22.1	△139	—
26年3月期第3四半期	7,068	△3.9	109	17.8	31	52.6	123	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △78百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	△11.82	—
26年3月期第3四半期	10.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	9,699		3,242		33.4	
26年3月期	10,219		3,573		35.0	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,242百万円 26年3月期 3,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,224	△1.0	107	△16.7	32	△20.0	△22	—	△1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	11,856,669 株	26年3月期	11,856,669 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	404,125 株	26年3月期	6,775 株
----------	-----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,770,035 株	26年3月期3Q	11,852,160 株
----------	--------------	----------	--------------

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済・金融政策等もあり、緩やかな景気回復基調にあります。一方で、急激な円安による物価上昇に伴う、実質所得の低下を背景として、個人消費の回復は滞った状況にあります。食品販売業界においても、顧客の低価格志向は続いており、依然として激化する競争の中、当社グループも厳しい環境下に置かれております。

このような状況下において、当社グループは年初より「変革」をテーマに掲げ、様々な施策を実施し、サービスの向上、業務の効率化等に努めてまいりました。それは当社グループ全体にも浸透しだし、システムの改善や全社員の意識改革など、効果も徐々に現れてまいりました。また、今年はその本番と心得、「変革」を更に推し進めていくとともに当社グループの事業である従来からの個人向け食材宅配に加え、今期から開始した法人向け宅配事業に全力を尽くしてまいります。

従って、新たなメニューの開発に積極的に取り組むなど、商品の充実を図ってまいります。

新しく始めた法人向け業務は、特に介護施設様よりメニューや使用材料の良さを評価していただき、順調に受注数を増やしております。今後とも成長が見込まれる分野であり、人員を増員するなど、営業体制を強化することで、得意先の拡大に努め、収益力の向上を図ってまいります。

結果、売上面では、主力のメニュー商品売上高については、64億2百万円（前年同四半期比99.2%）、特売商品売上高については、5億59百万円（前年同四半期比90.8%）となりました。

売上原価については、今夏以降の台風や豪雨等天候不順による、野菜等の生鮮商品の価格高騰の影響により、原価率は60.4%と前年同四半期の59.2%に比べ1.2ポイント上昇いたしました。その一方で、販売コースの見直しなど販売、管理コストの低減に努めた結果、販売費及び一般管理費は前年同四半期より1億13百万円減少し、26億63百万円になりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が69億61百万円（前年同四半期比98.5%）、経常利益は38百万円（前年同四半期比122.1%）になりました。しかし、減損損失1億58百万円を計上したこともあり、四半期純損失は1億39百万円（前年同四半期は1億23百万円の四半期純利益でしたが、前年同四半期は固定資産売却益1億97百万円の計上がありました。）になりました。

なお、後発事象として今期第4四半期連結会計期間の1月に有価証券を売却しましたので、1億23百万円の特別利益を計上することになります。

当社グループは、90%以上を女性が占める女性が活躍する活力のある企業であります。今後も、全社一丸となり、明るく、輝く女性のいる会社創りに努めてまいります。

また、財務面については、ROE等を重視した経営に入るべく、財務改善を引き続き行ってまいります。特に長期借入金の繰り上げ返済を積極的に行うことにより、借入金の減額に努めるとともに資金運用の効率化を推し進め、財務体質の強化に力を注いでまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

資産の部では、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が3億84百万円、有形固定資産が2億9百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ5億19百万円減少の96億99百万円になりました。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ短期借入金が6億50百万円増加しましたが、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が10億93百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少の64億57百万円になりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べその他有価証券評価差額金が72百万円増加しましたが、自己株式の取得による増加1億83百万円、利益剰余金が2億8百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億31百万円減少の32億42百万円になりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、平成26年10月31日に公表しました予想数値を変更しております。詳細は本日付「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が30百万円増加し、退職給付に係る負債が0.4百万円減少し、利益剰余金が19百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ0.8百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は同額増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,691,347	1,306,479
受取手形及び売掛金	54,349	53,533
有価証券	50,000	-
原材料及び貯蔵品	117,041	123,410
繰延税金資産	27,607	36,994
その他	31,224	38,693
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	1,971,448	1,558,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,346,492	1,272,111
土地	5,621,832	5,481,479
その他(純額)	218,955	224,247
有形固定資産合計	7,187,280	6,977,837
無形固定資産	68,411	86,597
投資その他の資産		
投資有価証券	400,743	516,506
繰延税金資産	1,601	1,467
退職給付に係る資産	102,342	139,693
その他	487,472	418,885
投資その他の資産合計	992,158	1,076,553
固定資産合計	8,247,850	8,140,988
資産合計	10,219,299	9,699,978
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	398,876	561,792
短期借入金	800,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	1,239,548	1,046,288
未払法人税等	40,481	27,731
賞与引当金	25,460	11,335
その他	467,759	563,620
流動負債合計	2,972,125	3,660,766
固定負債		
社債	83,000	55,000
長期借入金	3,400,452	2,499,990
退職給付に係る負債	4,382	3,803
資産除去債務	23,687	24,069
繰延税金負債	48,964	81,206
その他	112,767	132,470
固定負債合計	3,673,253	2,796,539
負債合計	6,645,379	6,457,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	809,372	601,097
自己株式	△3,233	△186,811
株主資本合計	3,442,296	3,050,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,475	135,214
退職給付に係る調整累計額	69,148	57,013
その他の包括利益累計額合計	131,623	192,228
純資産合計	3,573,920	3,242,671
負債純資産合計	10,219,299	9,699,978

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,068,838	6,961,626
売上原価	4,181,533	4,201,776
売上総利益	2,887,305	2,759,849
販売費及び一般管理費	2,777,362	2,663,929
営業利益	109,942	95,920
営業外収益		
受取利息	5,052	2,627
受取配当金	7,237	8,296
その他	8,975	9,163
営業外収益合計	21,265	20,086
営業外費用		
支払利息	85,448	71,107
その他	14,281	6,458
営業外費用合計	99,729	77,565
経常利益	31,478	38,441
特別利益		
固定資産売却益	197,867	-
特別利益合計	197,867	-
特別損失		
減損損失	-	158,274
特別損失合計	-	158,274
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	229,346	△119,833
法人税、住民税及び事業税	39,339	40,066
法人税等調整額	66,712	△20,764
法人税等合計	106,052	19,302
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	123,293	△139,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	123,293	△139,135

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	123,293	△139,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,060	72,739
退職給付に係る調整額	-	△12,135
その他の包括利益合計	△18,060	60,604
四半期包括利益	105,233	△78,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,233	△78,531

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(保有株式の売却)

当社は、保有する投資有価証券の一部を平成27年1月に売却しました。これに伴い、当連結会計年度において、上記に係る投資有価証券売却益1億23百万円を特別利益に計上する予定であります。